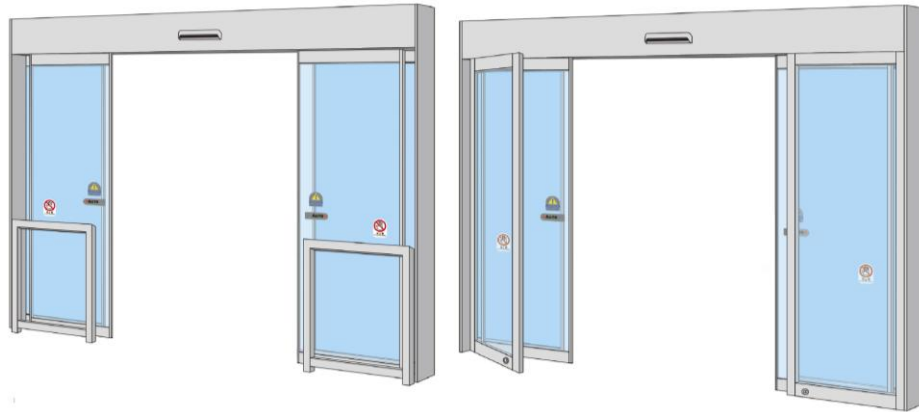


2018年1月30日

エンジンと建具をセットでご提供！ 「JIS A 4722」対応 歩行者用自動ドアセット さらなる安全性確保へ 2月1日より発売

三和シャッター工業株式会社(本社:東京都板橋区/社長:高山盟司)は、グループ会社である三和タジマ株式会社(本社:東京都豊島区/社長:前田 好之)、昭和フロント株式会社(本社:東京都千代田区/社長:長谷川 伸二)、昭和建産株式会社(本社:群馬県邑楽郡/社長:竹山 敏彦)と協働で「JIS A 4722」対応 歩行者用自動ドアセット(以下自動ドア)を開発し、2月1日より発売いたします。



三和グループは、スチール建材をはじめとしてエンジン(S-million)、アルミ、ステンレス部門を擁するグループの各分野における連携と開発・設計・製造・アフターサービスまでの一貫体制を強みとしています。それにより、高い安全性と優れた品質を備えた自動ドアをエンジン(S-million)と建具をセットでご提供してまいりました。

2017年3月に経済産業省より自動ドアの安全規格として制定された「JIS A 4722」は、エンジンや建具などの構成要素の商品設計・製造から施工、運用管理者による保全点検にいたる全ての工程が適用範囲になります。今回発売する自動ドアは、すべての工程で「JIS A 4722」の規格に準拠した商品です。自己診断機能(CAN 通信)により常に自動ドアの異常を監視し、異常があれば停止するなど安全側に作動します。その他にも通行者の検知機能を向上するなど、これまで以上の安全性を確保しています。

三和グループでは今後もグループの総合力を活かし、社会のニーズに適応した商品の拡充を図り、お客様に安全・安心・快適を提供してまいります。

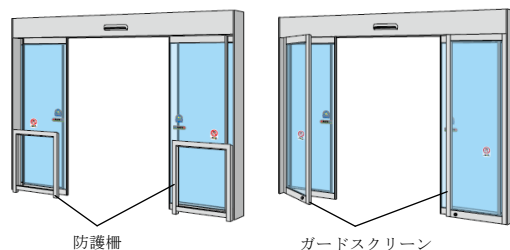
CAN 通信について

Controller Area Network (CAN)とはISO(国際標準化機構)の規格に準拠した通信技術のこと。マイクロコントローラやデバイスが、ホストコンピュータを介さずに通信でき、自動車をはじめとして医療機器や産業機械など幅広いシーンで活用されている。

◆特長

①これまで以上の安全性を確保

自己診断機能(CAN 通信)により自動ドアのコントローラーがセンサーを常に監視しており、異常があれば停止するなど安全側に作動し、事故を未然に防ぎます。その他にも、通行者の検知機能の向上や防護柵、またはガードスクリーンの設置による安全対策をしています。多くの方が使用する自動ドアだからこそ、これまで以上の安全性を確保しました。



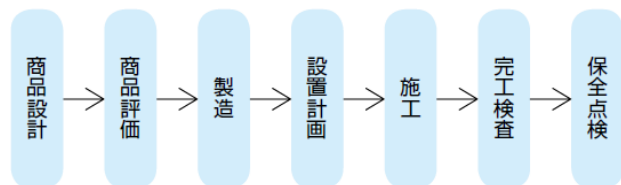
②エンジン(S-million)と建具を含めたセットでご提供

三和の自動ドアはエンジン(S-million)と建具をセットでご提供することができ、建具はステンレス製、アルミ製、スチール製を取り揃えています。スチール建材をはじめとしてエンジン、アルミ、ステンレス部門等を擁する三和グループだからこそ実現することができる総合力です。このように自動ドアにおける一貫した連携は、建具とエンジンという異なった分野においても高い企画力と提案力を発揮することができます。

③充実のアフターメンテナンス

自動ドアの安全規格である「JIS A 4722」(2017年3月21日制定)では、エンジンや建具などの構成要素の商品設計・製造から施工、運用管理者による保全点検にいたる全ての工程が適用範囲になります。三和グループはすべての工程で規格に準拠しており、安全性の確保に貢献します。なお、JISに定められた性能・状態を維持するためには定期的な保全点検を行う必要があります。三和シャッターでは、365日24時間日本全国どこからも定期点検・修理を受け付けるFTS(フルタイムサービス)を提供しており、万が一のトラブルに対し、万全の対応がとれる体制を整えています。

「JIS A 4722」の適用範囲



◆発売時期 2018年2月1日

※上記に記載されている情報は、発表日現在のものです。
予告無く変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。